

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 「急性冠症候群患者における急性腎障害発症を予測する尿中L型脂肪酸結合タンパクの検討」</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 小嶋 啓介</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2020年 3月 31日</p>
<p><研究の目的と意義> 急性腎障害は重症患者さんにしばしば生じえる生命予後を脅かす状態です。急性冠症候群患者さんにおいても急性腎障害はやはり死亡転機に影響を与える重篤な状態として知られています。急性腎障害を予測する血液・尿検査項目は多数報告されており、なかでも尿中L型脂肪酸結合タンパクは急性腎障害を早期から診断できる可能性を期待されているものです。しかしながらこれらの検査項目において急性冠症候群患者さんに発症する急性腎障害を十分予測することが出来るのかまだ十分に検討されていません。今回急性冠症候群患者さんにおける急性腎障害の発症と各種血液・尿検査項目との関係を検討することといたしました。本研究を行う事で、急性冠症候群患者さんにおける急性腎障害の発症を予測する上でより適した検査項目を明らかにし、急性冠症候群治療における急性腎障害の発症を未然に予測することで、より精細な治療・管理が可能になることを見込む事が出来ると期待しています。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 病歴などの診療記録、血液・尿検査所見、冠動脈造影検査所見などの情報を電子カルテから収集します。</p>
<p><対象となる患者さん> 2016年5月から2018年8月までに日本大学医学部附属板橋病院循環器内科にて冠動脈造影を施行した急性冠症候群患者さんを対象とします。ただし血液透析を行っている方と、心原性ショック状態になった方は含まれません。</p>
<p><研究の方法> 来院時の尿中L型脂肪酸結合タンパクを含む急性腎障害を予測する血液・尿検査項目を調べ急性腎障害発症の有無とバイオマーカーの関係を評価します。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 循環器内科 氏名:小嶋 啓介 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2412 (PHS)8697</p>